

## 令和6年度 地域支援事業の実績について

### 【介護予防支援業務】

介護予防サービスを利用したい要支援1、2の方が安心して在宅生活をすごせるようにアセスメントし、プラン作成とサービス調整等を行う。( ) 初回ケース

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
町担当	1,657 件 (64 件)	1,774 件 (46 件)	1,992 件 (66 件)
委託	1,033 件 (39 件)	1,041 件 (25 件)	986 件 (28 件)
総数	2,690 件 (103 件)	2,815 件 (71 件)	2,978 件 (94 件)

### 【介護予防ケアマネジメント業務】

総合事業（訪問型サービス、通所型サービス）を利用したい要支援1、2の方、事業対象者が自立した在宅生活を過ごせるようにアセスメントし、プラン作とやサービス調整等を行う。

( ) 初回ケース

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
町担当	1,125 件 (29 件)	1,169 件 (38 件)	1,195 件 (41 件)
委託	499 件 (17 件)	564 件 (19 件)	392 件 ( 9 件)
総数	1,624 件 (46 件)	1,733 件 (57 件)	1,587 件 (50 件)

### 【一般介護予防事業】

#### (1) 介護予防生活実態調査

在宅の虚弱高齢者を把握し、必要なサービスにつなげるため郵送調査を行う。調査票に訪問希望等の記載がある方には訪問調査、相談支援を行う。

郵送調査対象年齢：75、80、82、84、86、88 歳、90 歳以上

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
調査対象	1,427 人	1,490 人	1,494 人
有効回答	1,195 人	1,169 人	1,127 人
状況把握済※1	195 人	285 人	226 人
対象外※2	24 人	36 人	35 人

※1 入院中などの連絡のあった方 ※2 介護申請、死去、転出した方

#### (2) 介護予防普及啓発事業

##### ①出前講座

介護予防、認知症予防に対する知識の普及啓発のため、老人クラブなど各種団体に対して健康教育を行う。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	5 回	13 回	10 回
実施人数	75 人	196 人	208 人

## ②体力検定

4 種目の自立体力をテストし、体力の衰えを確認し、生活を見直すきっかけとする。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	3 回	3 回	3 回
参加人数	45 人	28 人	29 人

## ③脳力テスト

脳力テスト(ファイブログテスト)を実施して自分の認知レベルを知ってもらう。また講話を実施し、認知症や MCI に対する知識を持ってもらう。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
テスト	63 人	50 人	58 人
結果説明	45 人	34 人	35 人

## (3) 介護予防教室開催事業

### ①脳きたえーる塾

脳の活性化を促す、参加者で楽しいことを企画し実行する 5 回コースの認知症予防教室。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
実人数	6 人	5 人	10 人
延人数	35 人	24 人	48 人

### ②老福リフレッシュ体操

老人福祉センターを会場に、月 8 回の老福バスが運行している日にあわせ実施。

元気な高齢者が、健康を維持、増進するための運動を実施。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	88 回	88 回	86 回
指導人数	1, 269 人	1, 036 人	1, 166 人

### ③福寿フィットネス

福寿を会場に、月 2 回実施する。比較的元気な高齢者が、健康を維持、増進するための運動を実施。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	24 回	23 回	23 回
指導人数	150 人	162 人	267 人

### ④運動器機能向上事業

介護予防生活実態調査や訪問などで事業対象者や虚弱高齢者に対し運動教室を実施する。

【幕別地区】フレイル予防教室

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	46 回	48 回	48 回
実人数	18 人	16 人	19 人
延人数	511 人	503 人	536 人

【札幌地区】フレイル予防教室

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	47 回	48 回	48 回
実人数	30 人	25 人	22 人
延人数	940 人	842 人	756 人

⑤運動器機能評価事業

【膝痛腰痛改善教室】

北斗病院理学療法士 1 名による、関節の痛みを改善するための運動評価と指導を行う。

		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
幕別地区	回数	6 回	6 回	6 回
	実人数	12 人	10 人	12 人
	延人数	61 人	40 人	52 人
札幌地区	回数	6 回	6 回	6 回
	実人数	16 人	18 人	16 人
	延人数	78 人	90 人	85 人
忠類地区	回数			6 回
	実人数		R6 年度開始	16 人
	延人数			76 人

(3) 介護予防ポイント制度

65 歳以上の方が、自分自身の介護予防のため、施設等で行うボランティア活動に対し、1 時間につき 100 円分の行政ポイントを付与する。

【説明会実施】

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
説明会回数	2 回	0 回	3 回
人数	2 人	0 人	17 人

【ボランティア活動】

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
登録者数	63 人	52 人	31 人
活動人数	10 人	15 人	18 人
受入施設数	3 か所	3 か所	3 か所

【交流会】

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	0 回	4 回	3 回
人数	—	2 人	6 人

#### (4) 地域リハビリテーション事業

地域における介護予防の取組を機能強化するために、老人クラブ等の住民通いの場等へリハビリテーション専門職を派遣する。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
回数	1 回	2 回	2 回
指導人数	20 人	48 人	41 人

### 【包括的支援事業・任意事業】

#### (1) 総合相談

本人、家族、近隣住民、地域ネットワーク等を通じた様々な相談を受けて、的確な状況把握等を行い、相談内容に即したサービス又は制度に関する情報提供、関係機関の紹介等を実施。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
延件数	1,316 件	1,340 件	1,239 件

#### (2) 権利擁護事業

##### ①成年後見推進事業

成年後見制度について住民への制度の周知や相談、助言を行う。（社会福祉協議会に委託）

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
市民成年後見人養成済実人数	38 人	38 人	44 人
市民成年後見人活動実人数	11 人	8 人	8 人
市民後見人養成講座回数（2年に1回）	7 回	-	7 回
市民後見人養成講座人数（2年に1回）	9 人	-	6 人
講演会回数	2 回	4 回	3 回
市民後見人フォローアップ <sup>7</sup> 研修	1 回	2 回	2 回
相談件数	16 件	25 件	27 件

##### ②成年後見町長申立

親族等が行えない場合に後見人を選任する審判請求を行う。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
申し立て件数	5 件	1 件	3 件

##### ③成年後見支援費扶助

町長申立てによる制度利用者で、後見人の報酬を支払えない方への助成。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
後見人報酬助成人数	4 人	8 人	4 人
後見人報酬助成回数	4 回	8 回	4 回

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

介護支援専門員が包括的・継続的ケアマネジメントを実践できるよう、地域の基盤体制を整え、個々の介護支援専門員へのサポートを行う

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
プラン・給付管理に関すること	18 件	14 件	11 件
委託サービス担当者会議出席	83 件	147 件	109 件
計	101 件	159 件	120 件

ケアマネの資質向上のための支援のため、事例検討会を実施する。(町内事業所)

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事例検討会	0 回	1 回	0 回
出席延べ人数	0 人	19 人	0 人

### (4) 地域ケア会議 「地域ケア会議で把握した地域課題について」で実績報告

### (5) 在宅医療・介護連携推進

#### ①在宅医療・介護相談窓口

地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の設置、運営を行い、地域の医療・介護関係者からの、在宅医療・介護連携に関する事項の相談の受付を行う。また、必要に応じて、退院の際の地域の医療関係者の連絡の調整や患者・利用者又は家族の要望を踏まえた、地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行う。

相談者	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
医療機関	157 件	146 件	199 件
施設・介護事業所	34 件	3 件	5 件
計	191 件	149 件	204 件

#### ① 講演会

令和 7 年 2 月 8 日 (土) 対象 地域住民 50 名参加

ア ミニ講演「最期はどこで迎えたいですか」講師：町保健師

イ 映画上映「ピア～まちをつなぐもの～」

医師・訪問看護師・ヘルパー・ケアマネ・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカーなどが在宅療養や看取りなどの支援するストーリーの映画を通して自分の最期をイメージすることができた。

### (6) 認知症高齢者支援

#### ①高齢者見守りネットワーク

見守りネットワークに登録した町内の事業所（見守りネットワーク協力機関）が地域の高齢者を見守ったり、気がかりなことを地域包括支援センターに連絡することで、その方を必要な支援につなぐ。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
協力機関数	152 か所	153 か所	156 か所
通報延件数	2 回	9 回	4 回

## ②高齢者見守り協定

高齢者等の見守り活動に関する協力について協定を結ぶ。

協定月日	事業所名
H24. 11. 26	生活協同組合コープさっぽろ
H29. 1. 24	十勝地方道新会（幕別、札内、糠内、忠類販売所）
H29. 9	日本郵便株式会社北海道支社（幕別、札内、札内桜町、糠内、忠類、帯広郵便局）
H29. 7. 3	株式会社セブン-イレブン・ジャパン

## ③高齢者等 SOS ネットワーク

行方不明の高齢者の捜索依頼があった場合、登録した町内の事業所（SOS ネットワーク事業協力機関）に情報提供し、日常業務の中で情報提供の協力をお願いする。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
協力機関数	152 か所	153 か所	156 か所
ネットワークへの情報提供回数	4 件	5 件	4 件

## ④認知症サポーター養成講座

認知症に関する理解と知識を持った人を養成し、地域での見守り体制を強化する。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
養成講座開催回数（大人）	3 回	8 回	6 回
養成講座参加数（大人）	88 人	88 人	64 人
養成講座開催回数（小学生）	0 回	5 回	0 回
養成講座参加数（小学生）	0 人	151 人	0 人
認知症サポーター延数	2, 382 人	2, 621 人	2, 685 人

## ⑤認知症初期集中支援事業

認知症の方や家族へ専門職チームが早期に対応する。医師、看護師、精神保健福祉士は、大江病院に委託し、地域包括支援センター職員も入ってチームを編成し支援する。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
人数	1 人	0 人	0 人
訪問回数	0 回	0 回	0 回
チーム員会議	1 回	0 回	0 回
終了件数	1 人	0 人	0 人

## ⑥認知症カフェ

認知症の方やその家族が、同じ苦勞をしている人と気軽に集える場として、誰でも参加でき認知症の人もそうでない人も交流したり情報交換が気軽にできる機会を設置。民間団体が自主的に運営している。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
実施団体数	2 団体	0 団体	2 団体
回数	休止	休止	3 回
延べ利用人数	—	—	80 人

## ⑦徘徊高齢者家族支援事業

認知症の方の家族に GPS を貸出しし、捜索しなければならないような事態になった場合に使用できるようにする。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
新規登録	1 人	1 人	0 人
終了	4 人	2 人	2 人
登録数 3/31 時点	4 人	2 人	0 人

## (7) 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、生活支援コーディネーターが、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携をして支援体制の充実・強化を図る。

平成 29 年 4 月から、幕別町社会福祉協議会に生活支援体制整備事業を委託。

### 《コーディネーター活動実績》

		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
取材活動		17 回	28 回	15 回
住民つながり活動		354 件	382 件	502 件
出前講座	回数	2 回	1 回	0 回
	参加者数	30 人	20 人	0 人

### 《協議体》生活支援コーディネーター、社協職員、町で情報交換、業務内容検討

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
開催回数	4 回	4 回	26 回
出席者延べ人数	31 人	23 人	288 人

(8) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

道営とかち野団地内のシルバーハウジング入居者の安否確認や相談対応する生活援助員の派遣を社会福祉協議会に委託。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
退居者数	4 人	2 人	2 人
新規入居者数	0 人	1 人	6 人
年度末時点入居世帯数	13 世帯	12 世帯	15 世帯
年度末時点入居者数	13 人	12 人	16 人

(9) 介護相談員派遣事業

介護相談員相談員が施設等に訪問し介護サービス利用者から話を聞いたり、施設の様子をみて、住民目線で気づいたことなどを、施設側に橋渡しをすることで、サービスの質の向上や改善を図ることを目指す。

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
相談員数	3 人	3 人	3 人
訪問施設数	0 か所	11 か所	15 か所
訪問回数	0 回	84 回	60 回

(10) 住宅改修支援事業

福祉用具・住宅改修に関する相談助言、住宅改修費の支給申請に係る書類の作成をする介護支援専門員への手数料（居宅介護支援等を受けていない場合）

	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
利用件数	3 件	0 件	2 件